

第1回 JR宇都宮駅西口駅前広場整備検討懇談会 議事録

1 日時 令和8年7月9日(木) 15:00～16:30

2 場所 宇都宮市役所 14階 14大会議室

3 出席委員

学識経験者

森本 章倫 委員 中井 祐 委員

関係団体

二階堂 洋 氏(中村 考昭 委員代理)	庄司 元康 委員	村上 龍也 委員
坂本 明 氏(坂本 守弥 委員代理)	巴山 勝雄 委員	小林 毅 委員
川村 壽文 委員	増田 良二 委員	中山 淳子 委員
鈴木 信夫 委員		
小関 裕之 委員	中對 卓司 委員	

交通事業者

神保 成究 委員 石原 玲一 委員 荒井 勝 委員 酒井 典久 委員

行政機関

田中 祐也 氏(橋本 達雄 委員代理) 本間 毅 委員
村上 晃規 氏(角山 弘 委員代理)

事務局

都市整備部 金田参事

都市整備部 市街地整備課 上田課長 桑川課長補佐 小澤副主幹
佐藤係長 平野総括 齋藤主任 高谷主任
嶋村主任技師 竹村主任主事

4 会議経過

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 「JR宇都宮駅西口駅前広場整備検討懇談会」の設置について

① 設置要綱等について

事務局から設置要綱に基づき説明

② 委員の紹介

③ 会長・副会長の選出について

互選により、会長に森本委員が選任

副会長に長田委員を推薦(欠席:後日意向を確認し、次回の懇談会で報告)

森本会長	整備基本計画策定の段階から名称が変わり、今回、整備検討ということで一步先に進んだ認識でございます。2か年かけて作成した計画をより実効性の高いものにするための懇談会であると理解をしております。 宇都宮駅の顔である西口について、どのように景観をデザインし、交通を処理し、空間を魅力的なものにするのかという議論は、宇都宮市の将来に向けて極めて大きな選択をする任務を課されたものだという理解をしております。委員の皆さんの忌憚のないご意見をいただきながら、円滑に議事進行を務めてまいる所存でございます。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。
------	---

(4) 会議の公開について

本会議は、一部非公開として決定

(5) JR宇都宮駅西口駅前広場の整備について

① 空間デザインの検討状況について

・事務局から資料1に基づき説明

森本会長	事務局からの説明が終わりましたので、皆様からのご意見・ご質問を伺いたいと思いますが、まずは本日欠席の長田委員よりご意見をいただいていると聞いておりますため、事務局よりご報告をお願いします。
事務局 (長田委員意見代読)	昨年整備基本計画が策定されるとともに、駅前における市街地開発事業の進展や、LRT事業についても特許申請を行うなど、駅西側のまちづくりが大きく進んでいるものと日々感じております。 今回、駅前広場整備を具体化するためのデザイン方針の素案が示されたが、TOD（公共交通志向型都市開発）と呼ばれる都市づくりの考え方も踏まえ、公共交通利用者の利便性向上につながるバリアフリーやアンブレラフリーな施設設計に取り組むことや、商業施設と連携した広場空間を創出していくことは重要であると考えます。 2050年代の実現に向け、「ライトライン」と「まち・ひと・しぜん」をつなげる駅前広場の作り方の検討を深めていただきたいと思います。
森本会長	今の長田委員からの意見につきまして、事務局からのご回答はありますでしょうか。
事務局	鉄道やバス、ライトラインなどの公共交通の主要な乗換動線などへは乗り継ぎなどにおける利用者の利便性の向上に繋がるシェルター（屋根）やエレベーターなどの設置、交流広場に隣接する商業施設の飲食スペース等の連携など、空間デザインの検討を進めていく中で駅前広場の整備のイメージを具体化してまいります。

森本会長	それでは、委員の皆様からご質問・ご意見をいただきたいと思います。
川村委員	資料１４ページに記載のある２０５０年代の駅前広場の図について、本日の資料だと南街区から駅前広場に入る道路が遮断されているが、令和７年１０月に策定された整備基本計画の公表図面では、遮断でなく通行可能だったかと思います。今回の図面に変更した経緯についてお尋ねしたいと思います。
事務局	将来の駅前広場の使い方として、バスなど公共交通の安全で円滑な運行に繋がる駅前空間を目指し検討を進める中で、現在の駅前広場周辺における朝夕の一般車両などの流れ等から、南街区から駅前広場に入る道路を取り付けることによって、民間街区周辺への目的外の通過交通の発生や、多くの市民が利用するバスやタクシーの安全・円滑な運行、歩行者の安全な通行に影響が出ると考えられたため、今回の図面とさせていただいております。
川村委員	この図面は決定案ではなく、将来の形状という理解でよろしいのでしょうか。
事務局	駅前広場の将来目指す姿としての道路の形状です。車両動線の変更については、今後、工事の進め方や車の回し方などを具体化していく中で、段階的な車両の流入抑制など整備に向けた対応が必要だと認識しております。懇談会などご意見を伺いながら検討を深めていきたいと考えております。
川村委員	今回の資料の内容について、私は事前に聞いていない状況です。今後、地元住民との話し合いを経て、資料を作成いただければと思います。
森本会長	本日は初回の会議であり、委員の皆様から様々な忌憚のないご意見をいただければと考えております。また最終的には皆様の合意のもとで整備を具体化していくという理解であります。これからも十分な意見交換をさせていただきたいと思っており、本日の会議が一部非公開ということからも、まだ十分な議論が出来ていないということでもありますため、引き続き前向きなご議論をお願いできればと思います。
小林委員	駅前広場へのアクセス動線の分離により、バス・タクシー空間に一般車が入ることができない計画となっているが、民間街区の荷捌き等の業務用車両についてはどのような使い方を考えておりますでしょうか。

事務局	ご質問いただいた荷捌きというところにつきましては、まずは再開発事業では、敷地内に荷捌き駐車場などのスペースを設けていくものと認識しております。
小林委員	荷捌きの時間帯は、朝の時間で重なることが多いのですが、再開発事業の計画ですべて対応できるのか、あるいは時間帯を区切る等することで一般車も通行可能にするなどの考えがあるのでしょうか。
事務局	現状の考えといたしましては、大通りにおける円滑な通行確保に向けて規制などを遵守いただきたいところでございます。ただ、先ほどの車の流入を抑制していく考えと同様、段階的な整備による車両の回し方をお示ししていく必要があります、再開発事業や既存店舗などの状況と合わせて検討を深めていきたいと考えております。
小林委員	今回の図面は、現時点の一つの案と理解してよろしいのでしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。
坂本氏 (坂本委員代理)	中央街区のこれからをトナリエ宇都宮と一緒に再開発を行っていくという立場で意見を述べさせていただきます。 資料9ページの駅西口の将来イメージですが、イメージとして提示されているものが、過去に選挙活動の場で活用され、いかにもその現実味を帯びるような形で誤解を与えてしまう使われ方をされてしまったと非常に残念に感じております。 このイラストを作られる過程においては、将来2050年頃にJR西口はどのようになるのかという、ひとつのイメージとして作ったものと聞いています。しかし、そういうものが選挙で使用されると、A街区が公園化されることが決定したものと間違った認識をされているのではないかと懸念しているところです。 懇談会の第1回目が行われる前の段階で、JR宇都宮駅西口駅前広場橋梁等詳細設計業務に係る公募型プロポーザルが実施されているようです。詳細設計というのは、懇談会を経て方向性が決まってから行うものではないかと考えますが、進め方として正しいものなのかお伺いしたい。
事務局	まずは昨年度までの計画策定懇談会で議論を重ねながら整備基本計画を策定し、駅前広場の整備方針などについても位置づけをお示したところでございます。設計業務につきましては、その整備基本計画に基づく方針を具体化するための業務でございまして、内容を深度化したものについて、懇談会で意見を伺い、整理をしていくといった進め方となりますので、ご理解いただければと考えております。

坂本氏 (坂本委員代理)	北側の一般車乗降場の動線が、旧篠原家住宅前からの一方通行で袋小路となっており、そのスペースで十分なのか疑問に思っております。動線分離が周辺の交通環境に影響する場合のことも考えて提示されている案なのか、お聞かせください。
事務局	駅前広場の一般車動線等につきましては、博労町交差点から駅に向かう送迎利用を目的にされる方に使っていただく乗降施設を整備するものとしており、長時間停車される方は、広場外の民間駐車場等を使っていただくことを前提としております。現在の送迎利用の状況について調査をかけた上で、必要な規模等を設定しているものです。一般車乗降場の使われ方が非常に重要になってくると考えておりますので、ソフト対策などについても今後検討を深めていきながら、整理をしていきたいと考えております。
森本会長	その他意見がないようであれば、本日は空間デザインの検討状況を提案させていただきましたので、こちらの議事については終了といたします。

- (5) JR宇都宮駅西口駅前広場の整備について
 ② 駅前広場の整備概要について【非公開】

- (6) その他

- (7) 閉会